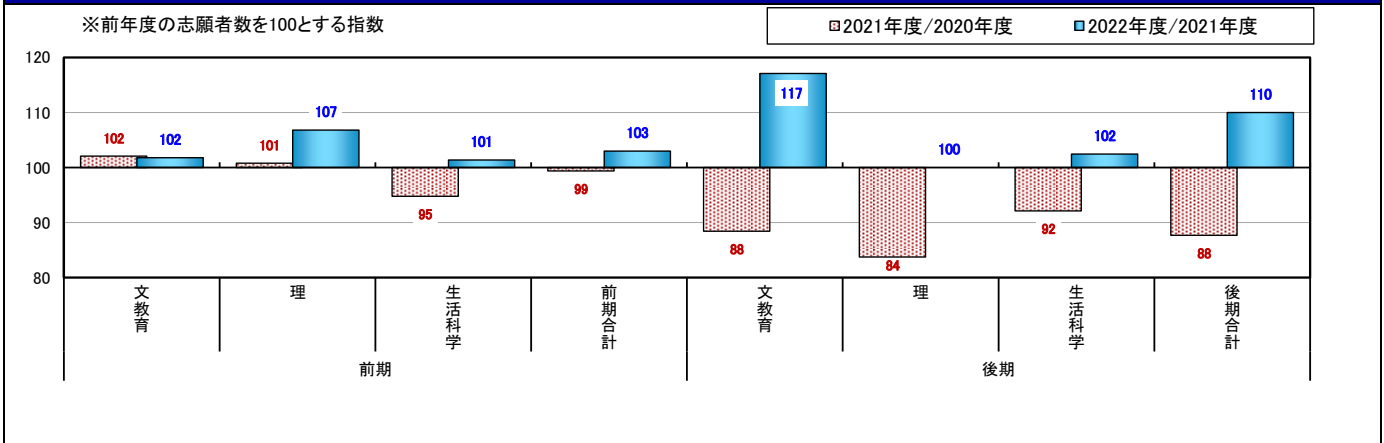


お茶の水女子大：大学全体では5年ぶりに増加

前期：+28人 後期：+49人

**COMMENT** ※（ ）内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、女子大への人気低下の中で4年連続減少した反動は見られたが、77人(105)のやや増加に留まった。前期は28人(103)のやや増加で、4年ぶりの増加だが、志願者数は1,000人に達しなかった。後期は2年連続減少の反動と共通テストの平均点ダウンの影響で前期上位大学志願者からの併願先として狙われて、49人(110)の増加。

<前期日程>

- 文教育(102)**は、2年連続前年度並。学科・専修プログラム別では、(人文科学)(122)は2年連続減少の反動で大幅増加。(人間社会科学)(107)は、やや増加で2年連続増加。(芸術・表現行動)は募集人員が少なく極端な増減となりやすいが、(芸術・表現行動/音楽表現)(63)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。(芸術・表現行動/舞踊教育)(80)は、大幅減少で2年連続減少。
- 理(107)**は、やや増加で志願倍率は3年ぶりに3.2倍を上回った。学科別では、(情報科学)(156)は系統への高い人気と3年連続減少の反動による大幅増加で、志願倍率も2.3倍→3.5倍にアップ。(物理)(146)、(生物)(121)も大幅増加。一方で、(数学)(51)は2年連続大幅増加の反動でほぼ半減で、志願倍率も6.0倍→3.1倍にダウンして5年ぶりに4倍を下回った。
- 生活科学(101)**は、前年度やや減少の反動はなく前年度並。学科別では、(人間・環境科学)(118)は大幅増加、(心理)(111)は、前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(食物栄養)(90)のみ前年度増加の反動で減少。

<後期日程>

- 文教育(117)**は、前年度減少の反動で大幅増加。志願倍率は15.3倍→17.9倍にアップし、2年ぶりに17倍を上回った。学科・専修プログラム別では、(人文科学)(127)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。(芸術・表現行動/音楽表現)(114)は増加。(人間社会科学)(100)は、前年度大幅増加の反動はなく前年度と同人数。
- 理(100)**は、3年連続減少の反動はなく前年度と同人数。学科別では、(化)(179)は、3年連続減少の反動で激増。(数)(168)は、前年度個別試験の数学を廃止し共通テストのみとした影響で大幅減少したが、その反動で激増。志願倍率は6.3倍→10.7倍にアップしたが、2019年度以前は20倍を上回っていたので、厳しい競争ではなかった。(生物)(136)は、前年度激増した反動はなく、さらに大幅増加。(情報科学)(49)は、前年度増加の反動で半減以下の大幅減少。
- 生活科学(102)**は、微増だが5年ぶりに増加。学科別では、(人間・環境科学)(103)はやや増加で2年連続増加、(食物栄養)(102)は、前年度大幅減少の反動は小さく前年度並。